

**2020年度（令和2年度）
第1回みんなのライフスタイル応援会議**

会議資料

2020年（令和2年）7月31日

福山市企画政策部企画政策課

議題

1 人口減少対策アクションプラン進捗

- 1-1 ペルソナごとの主な計画と実績
- 1-2 2020年度の取組の進捗

2 新型コロナウイルスの感染拡大による意識・行動の変化

- 2-1 住民の意識・行動変化に関するアンケート調査（概要）
- 2-2 学生の就職観等に関する調査

3 ペルソナ未来予測分析

- 3-1 ペルソナ未来予測分析について

4 人口減少対策の再構築

- 4-1 ペルソナのアップデートの必要性
- 4-2 人口減少対策の再構築に向けたスケジュール

5 コロナ禍での新たな取組の検討

- 5-1 【提案】（仮称）サンクス！家族ウィーク

1 人口減少対策アクションプラン進捗 — 主な計画と実績 —

【重点】ペルソナ① 高3進学女子

市外大学への進学を考えている
高校3年生の女子



A. 広島市や岡山市など比較的大きな地方都市の大学へ進学したい。

B. 駅前に友達と遊んだり買い物できる場所が少ない。

2019年度の主な計画

市内の教育機能の向上と定住促進

- 未来社会をデザインする特別講座の開講
 - ・ソフトバンクなどと連携し、福山にしながら多様に学べる機会を創出
- トビタテ！留学JAPAN
 - ・福山グローバルパートナーシップ協会の支援による海外留学プログラム
- 市外大学への通学費支援
 - ・新幹線や高速バスでの大学通学者を対象に通学定期券の購入費の一部を補助

新しい価値を生む都市づくり

- 若者も楽しめるまちなかパーク整備

主な実績

- ソフトバンク(株)と連携した講座を開催
 - 参加者 30人
 - 満足度 70%
- トビタテ！留学JAPANの実施
 - 派遣留学生 10人
 - 市内就職率 60% (3名/5名)
- 市外大学への通学費支援
 - 件数 41件
 - 市内就職率 67% (4名/6名)



【ソフトバンク特別講座】



【トビタテ！留学JAPAN】

ペルソナ② 高3就職男子

地元企業への就職を予定している
高校3年生の男子



A. 仕事は、デスクワークより体を動かす職場が希望。市内の製造業に就職したい。

B. でも、市内で、安心して働き続けることができる企業についての知識がなく不安。

2019年度の主な計画

市内企業の認知度向上と職業観の醸成

- 企業見学バスツアーの実施
 - ・市内の高校生、大学生の子どもを持つ保護者を対象としたバスツアーによる企業見学会の実施
- 「ゲンバ男子」の魅力発信
 - ・ウェブサイトや出前講座において「ゲンバ男子」の働く姿を通じたものづくり現場の魅力を発信

主な実績

- 企業見学バスツアーの開催
 - 開催回数 2回
 - 参加者 23人
- Webサイトを活用したものづくり現場の魅力発信
 - 掲載企業数 12社
 - 14,117PV (2018 : 11,504PV)



【ゲンバ男子】

【重点】ペルソナ③ 就活大学生

就職で福山に戻るかどうか
悩んでいる **大学3年生**



A. 親からは福山に戻ってほしいと言われているけど、地元企業のことがわからなくて不安。

B. 働くなら福利厚生が充実している職場で働きたい。

C. 現在住んでいるまちの方が、福山より都会で楽しい。

2019年度の主な計画	主な実績
-------------	------

市内企業とのマッチング強化

- 中小企業の社長の声を届ける「社長の声プロジェクト」
- 関西圏などの大学生を対象とした市内企業との交流会の実施
- 市内企業への就職活動費などの支援
 - ・市内企業への就職を希望する学生の就職活動費（交通費）を支援
- 働き方改革の“輪”広がるプロジェクト
 - ・ワーク・ライフ・バランス認定制度による働き方改革の推進

- 社長の声プロジェクトの実施
掲載企業数 18社
700PV (2018：未実施)
- 企業研究会の開催（大阪，東京，広島）
参加企業 延べ129社
参加者 延べ114人
- 市内企業への就職活動費の支援
件数 25件
- ふくやまワーク・ライフ・バランス認定
認定企業数 123事業者
(2018：105事業者)



【社長の声プロジェクト】



【企業研究会】

新しい価値を生む都市づくり

- 福山駅周辺の再生
 - ・若者や女性をひき付けるビジネス環境の創出（ワークショップの開催）

ペルソナ④ 子育て専業主婦(夫)

出産を機に退職した25～39歳
子育て中の専業主婦(夫)



A. 子どもに何かあっても夫(妻)は休んでくれないので、仕事を辞めた。

B. 子育てが少し落ち着いたらお小遣いや生活費の助けになる程度の仕事をしたい。

C. 2人目がほしいけど、体と心、そして、自分の時間を持てないことが不安です。

2019年度の主な計画	主な実績
-------------	------

子育てと仕事の両立支援

- 短時間就労（プチ勤務）の促進
 - ・子育てで離職中の主婦（夫）に対する意識調査の実施
- Web系在宅ワークの支援
 - ・子育て中の未就業女性を対象に、Webを活用した在宅ワークの実施を支援

- 意識調査の実施
希望の就業時間
(子どもあり未就業女性)
6時間以内 52%
⇒女性向け合同企業説明会を開催（2020年度）
- Web系在宅ワークの支援
実収入を得た受講生の割合
31.8%



【Web系在宅ワーク】

1-1 ペルソナごとの主な計画と実績

【重点】ペルソナ⑤ 子育て共働き女性

3人目を考えている25～39歳 子育て中の共働き女性



A. 3人目を考えているけど、
経済面での不安のほか、夫
の育児へのサポートに不満。

B. 夫の会社は休暇制度が充実
していないくて、子どもの体
調不良などで休むのはいつ
も私。

2019年度の主な計画

ネウボラを中心とした子育て支援の充実

- 福山ネウボラの充実
 - ・あのね手帳による相談の充実
 - ・ネウボラ相談員のスキルアップなどによる相談体制の充実
- 子育てパパの育児参加促進
 - ・子育てパパに対して「子育てパパ活躍ウィーク」を設定し、官民連携でパパの育児参加を促進
 - ・「夢見るパパとママの会」など子育てパパが気軽に参加できる講座の充実
 - ・男性従業員への家事・育児参加促進と環境整備
- 子どもの医療費助成制度の拡充
 - ・2019年度から助成対象を通院・入院ともに中学生まで拡充

主な実績

- ネウボラ相談窓口「あのね」の充実
 - あのね「ぬまくま」の開設
 - あのね手帳を制作・活用
 - 「あのね」相談件数 17,912件
- 子育てパパ活躍ウィークの実施
 - 休暇取得・早めの退社などの促進
 - 参加者数 約750人
 - 親子参加イベントの実施
 - 参加者数 約950人
 - びんまるへの「イクオさん日記」の掲載 掲載企業数 11社
- 夢見るパパとママの会の開催
 - 参加者 1,031人
- 子どもの医療費助成制度の拡充
 - 2019年4月から対象年齢を拡大



【「あのね」での相談】



【子育てパパ活躍ウィーク】

【重点】ペルソナ⑥ 共働き夫婦

妊娠を希望している25～39歳 共働き夫婦



A. 結婚して5年。そろそろ子ども
がほしいが、経済面で不安。

B. 不妊治療にも行きたいけど、
仕事との両立が難しい。

2019年度の主な計画

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- 不妊治療や不育症治療に対する経済的負担の軽減
 - ・不妊治療（男性不妊治療の初回治療費の助成額を拡充）や不育症治療に係る費用の一部を助成
- 風しん抗体検査の実施
 - ・先天性風しん症候群の発生予防のため、妊娠を希望する女性などに検査を実施
- 働き方改革の“輪”広がるプロジェクト（再掲）

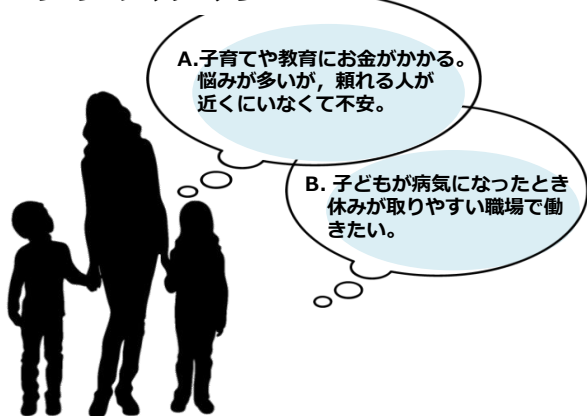
主な実績

- 一般不妊治療費の助成 件数 138件
- 不育症治療費の助成 件数 29件
- 風しん抗体検査の実施 件数 827件

1-1 ペルソナごとの主な計画と実績

ペルソナ⑦ シングルマザー

二人の子どもを育てている25～39歳
シングルマザー



2019年度の主な計画

ネウボラを中心とした子育て支援の充実

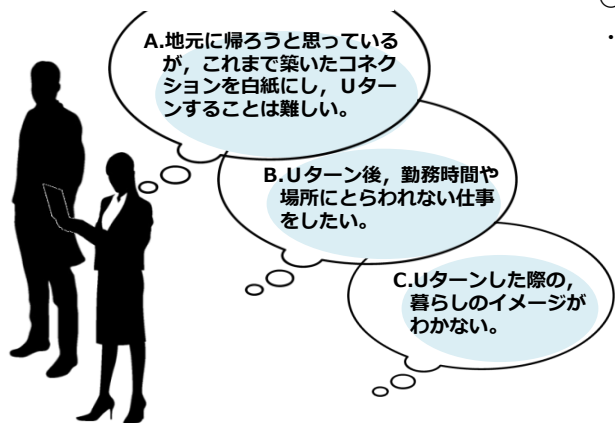
- 福山ネウボラの充実（再掲）
- 子育て世帯向けに改修した市営住宅の供給
 - ・市営住宅の空室を子育て世帯向けに改修し、供給
- 児童生徒への就学援助の充実
 - ・経済的理由により就学が困難な小中学生へ学用品費などを援助
- 放課後児童クラブの拡充
 - ・全学区小学6年生まで受け入れるための環境整備
- 働き方改革の“輪”広がるプロジェクト（再掲）

主な実績

- 子育て世帯向け市営住宅の供給
件数 10件
- 児童生徒への就学援助
2019年度から対象を国立、県立、私立まで拡大
件数 5,280件
- 放課後児童クラブの整備
整備教室数 24教室
2020年4月から全学区小学6年生まで受入れ

ペルソナ⑧ 移住希望未婚男女

Uターン転職しようと考えている
25～39歳 未婚の会社員



2019年度の主な計画

新たな働き方の提案

- 多様な働き方を生み出す拠点の整備
 - ・関西圏などで働くクリエイティブ人材のお試し移住として、仕事と生活空間を用意したワーケーションを実施

主な実績

- ワーケーションふくやまのモデルケース構築
1件
(体験者2名 ※うち1名は移住し、市内で起業)



【テレワークの様子】



【こどもクリエイターワークショップ】

ペルソナ⑨ 移住希望既婚男性

一家で移住を考えている25～39歳
既婚の男性会社員



A.自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

B.地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

C.関西圏の企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で活かしたい。

2019年度の主な計画

ネウボラを中心とした子育て支援や教育環境の充実

- 小学校「学びづくりフロンティア校」事業
 - ・教科や学年の枠を越えたカリキュラムの編成・実施・評価による教育の質の向上
- 「学びを拓く学校図書館」充実プラン
 - ・児童・生徒の読書活動推進のため、学校図書館を整備

移住行動の促進

- 移住ターゲットへの効果的な情報発信
 - ・ビッグデータなどを活用した移住ターゲットへの効果的な情報発信
- 市内企業への就職活動費などの支援（再掲）

主な実績

- 「学びづくりフロンティア校」事業授業が面白いと回答した割合 85.8%

- 学びを拓く学校図書館整備数 15校

- ビッグデータを活用した移住ターゲット分析
 - 移住ターゲット層の特性やニーズのデータ獲得
 - 有効なWeb媒体の作成や効果的な情報発信を検討中



【学びを拓く学校図書館】

満足度を高める3つの柱

①働き方改革の推進

before

経営者意識改革支援事業
 ・働き方改革の実践に向けた個人社支援の実施

after

企業のオンライン化支援
 ・事業のオンライン化によって業績を好転させる取組やテレワークの導入、ECサイト構築等に向けたコンサルティング費用への助成

IoTの導入、生産性向上等の経営基盤強化支援

オンライン企業説明会等の実施
 ・WEBを使ったインターンシップや合同企業説明会の開催

WEB合同企業説明会や面接への助成

②男性の育児参加促進

子育てパパ活躍ウィーク

(別紙で説明)

③地域の子ども・子育て支援の充実

地域の子ども・子育て支援の充実

オンラインによる相談の実施
 ・オンライン母子保健事業等の実施（こんにちは赤ちゃん訪問事業、親子教室など）

地域おこし協力隊による子育て情報の発信
 ・YouTubeで、若者や子育て世代に福山市の魅力を発信（動画配信全9本（チャンネル登録者数が7月に1万人突破））



2020年度強化する取組

ワーケーションふくやま

福山で働き・暮らし・交流する体験の場の提供

ワーケーションふくやまの強化
 ・ワーケーションプランの開発支援（宿泊施設等への助成）
 ・ワーケーション体験者誘致イベントの実施

都市圏の転職希望者への支援
 ・都市圏等の転職希望者へのインターンシップ支援（企業とのマッチング、交通費・宿泊費の助成）

2 新型コロナウイルスの感染拡大による意識・行動の変化

2-1 新型コロナウイルスの感染拡大による住民の意識・行動変化に関するアンケート調査(概要)

実施概要

【調査目的】

住民の現状や感染拡大の収束後の意識・行動変化などを把握し、効果的な施策・事業の構築につなげるため実施

【調査時期】

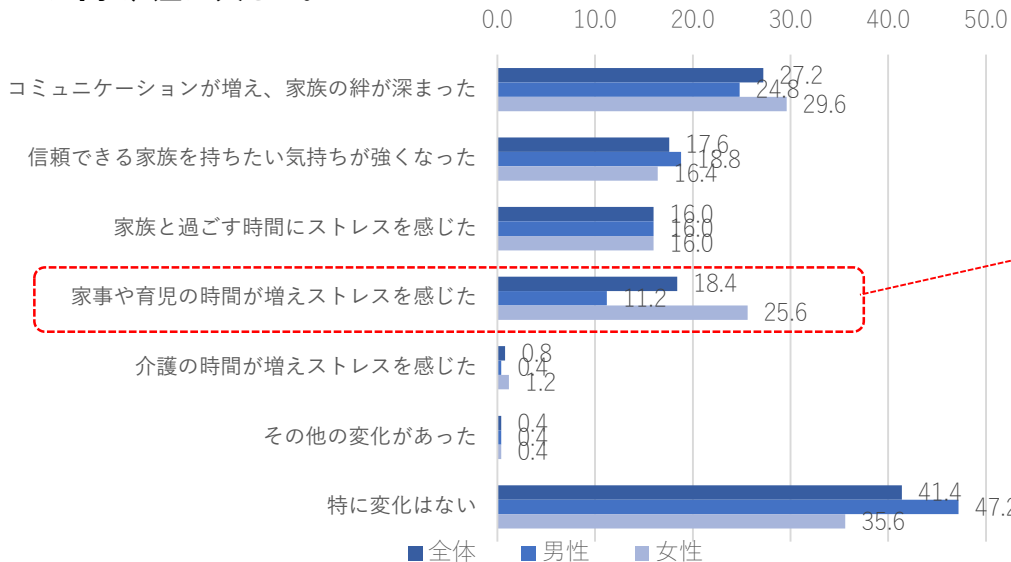
2020年5月29日（金）～6月1日（月）

【調査対象】

備後圏域の住民（18歳から49歳まで） 500人
 ※対象自治体間の人口や男女の比率を考慮

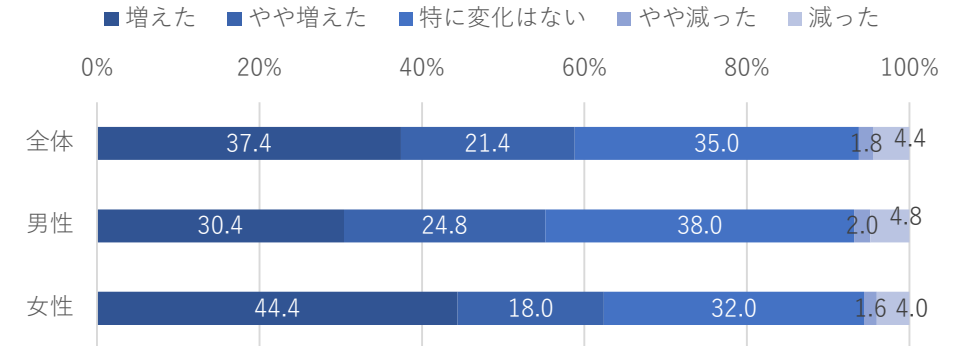
家族との関係の変化（昨年比）(MA)

・「家事や育児の時間が増えストレスを感じた」が男性に比べ女性の割合が高く、差が大きい。



家族と一緒に過ごす時間の変化（昨年比）(SA)

・家族と過ごす時間について、約6割が増えた(「増えた」「やや増えた」と回答。「増えた」と回答した割合は、男性と比べ、女性の方が14%高い。



女性を、子どもや就業の有無等でグループ分けした場合

家事や育児の時間が増えストレスを感じた

- 1位：子育て専業主婦 62.5%
- 2位：子育て共働き女性 41.7%
- 3位：シングルマザー 22.2%

・自粛期間の中、子育て専業主婦のうち約6割がストレスを感じていた。

2-1 住民の意識・行動変化に関するアンケート調査(概要)

感染拡大収束後、どのようなことが不安か(MA)

- ・収束後の不安は、「自分や家族の仕事・収入」が52.6%と高い。年代で見ると若い世代ほど割合が高くなっている。

		n	自分や家族の健康	入 自分や家族の仕事・収入	子どもの教育	減少 友人等との交流機会の	その他	特に不安はない (%)
全体		500	40.2	52.6	32.0	29.6	0.6	13.4
性別	男性	250	36.8	52.0	25.6	28.4	0.0	15.6
	女性	250	43.6	53.2	38.4	30.8	1.2	11.2
年代	18 - 29歳	140	46.4	59.3	26.4	39.3	0.0	12.9
	30 - 39歳	210	38.1	53.8	35.2	27.1	0.5	10.0
	40 - 49歳	150	37.3	44.7	32.7	24.0	1.3	18.7

感染拡大収束後の働き方はどうあるべきか(MA)

- ・「休暇制度の積極的な取得」が45.8%と多く、「生活実態にあわせた出退勤時間の導入」43.6%、「テレワークの定着」38.6%と続く。これらの項目は男性に比べ、特に女性で高い。
- ・年代で見ると、ほとんどの項目で、若い世代になるほど割合が高くなっている。

		n	テレワークの定着	W E B 会議の積極的な	兼業・副業の推進	退勤時間（フレックスタイム）の導入	生活実態にあわせた出退勤時間の積極的な取得	その他	変化の必要はない (%)
全体		500	38.6	33.4	27.4	43.6	45.8	0.4	20.8
性別	男性	250	34.4	32.4	28.8	38.4	44.0	0.4	23.6
	女性	250	42.8	34.4	26.0	48.8	47.6	0.4	18.0
年代	18 - 29歳	140	47.9	42.9	32.1	49.3	50.7	0.0	15.0
	30 - 39歳	210	37.1	30.0	27.6	43.8	48.1	0.5	21.0
	40 - 49歳	150	32.0	29.3	22.7	38.0	38.0	0.7	26.0

市外大学生

中間報告

市外に進学した福山市出身学生の就職観等に関する調査

【対象】

「ふるさと福山学生応援パック」に申請した学生 約2,000人

「市外大学への通学支援事業」に応募した学生 約40人

【調査方法】

ネットアンケート調査

7月末まで

感染拡大による「意識の変化」(MA) 上位5位まで

- ・健康に対する意識が高まった 約6割
- ・テレワークなど柔軟な働き方ができる企業で働きたいと考えるようになった 約4割
- ・感染症の影響を受けにくい業種で働きたいと考えるようになった 約3割
- ・地元で就職したい気持ちが強くなった 約2割
- ・就職は他地域を考えているが、将来、地元に戻りたい意識が強くなった 約2割

感染拡大による「今後の不安」(MA) 上位5位まで

- ・感染に対する不安 約5割
- ・経済状況により希望の就職先があるか不安 約4割
- ・アルバイトなどの自身の収入の減少に関する不安 約4割
- ・WEB面接などWEBによる就職活動に対する不安 約4割
- ・オンライン授業など授業に対する不安 約4割

3 ペルソナ未来予測分析

実施概要

AIによる人口減少対策の再構築

- 京都大学や(株)日立製作所と連携し、施策構築のプロセスにAI技術を導入
- AIによって、起こり得る未来を分析し、人口減少対策を再構築



Step1 「情報収集」

終了

Step2 「選択肢検討」

Step3 「戦略選択」

- ペルソナとのワークショップ
- アンケート結果などの各種データの整理

- 因果関係をフロー化し、要因を検討

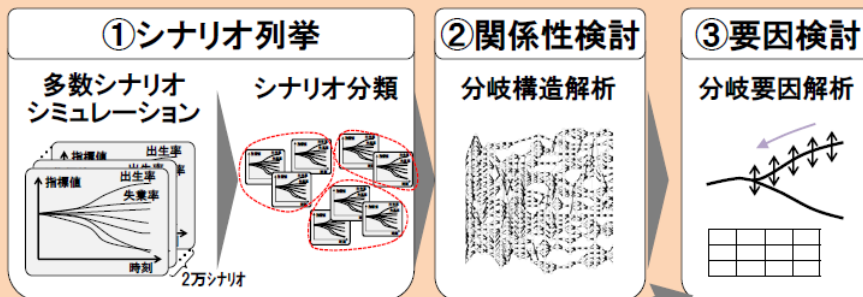
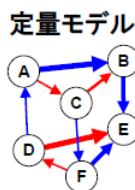
- 施策の選択によって、ペルソナに起こりうる未来を予測



ライフスタイル応援会議特別企画 「ペルソナ未来予測ワークショップ」の開催

日 時：2020年2月26日13時30分～
参加者：ライフスタイル応援会議委員
当会議の構成団体の従業員等
(子育て共働き女性など)

選択肢検討 ステージ



戦略選択 ステージ

シナリオ比較／価値判断



政策提言



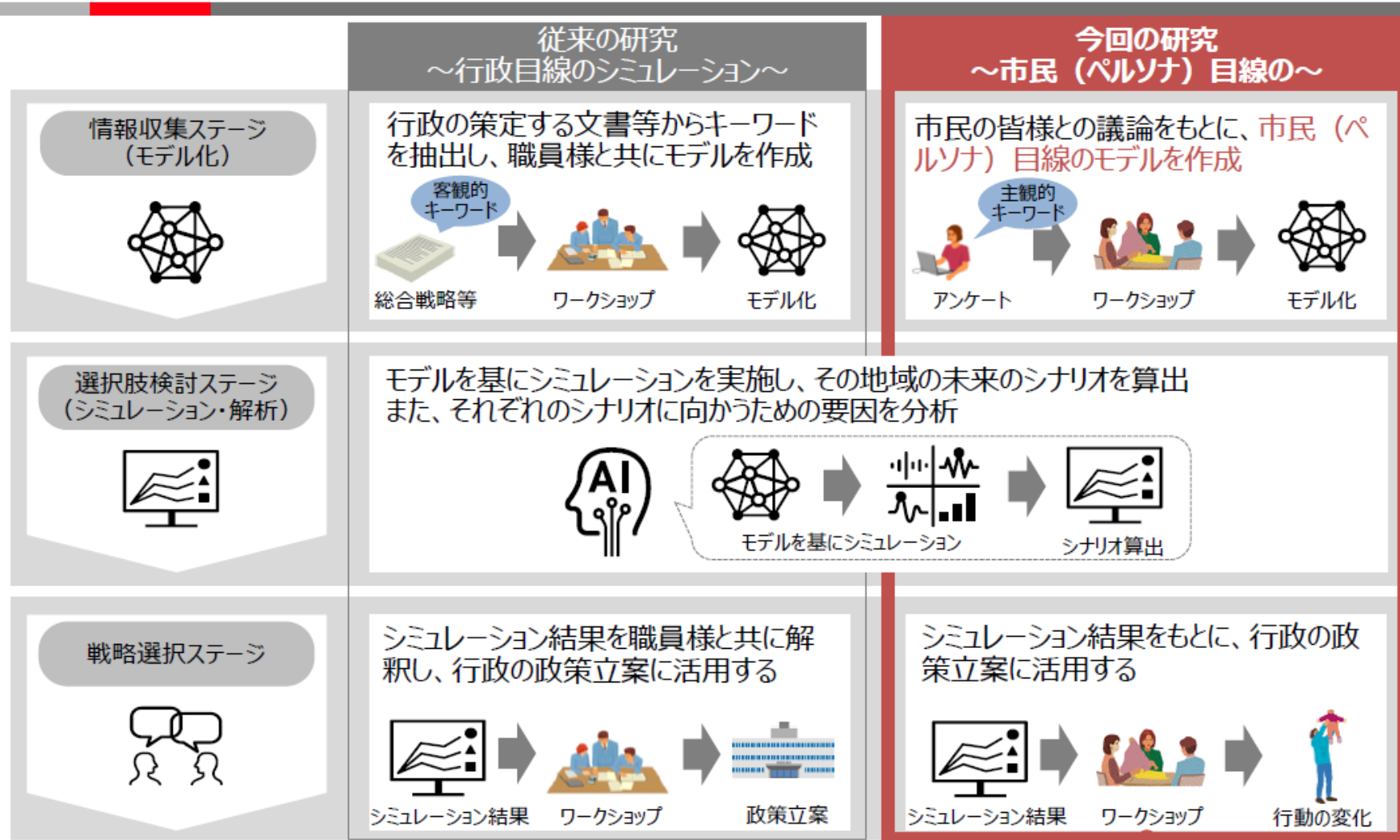
※日立京大ラボ資料



3-1 ペルソナ未来予測分析について

プロジェクトの特徴

※日立京大ラボ資料



今回の研究は、「目指すべき地域にするためにどのような行動をとるべきか」について
市民目線の具体的な検討を目指すことが特徴的です。

4 人口減少対策の再構築

4-1 ペルソナのアップデートの必要性

① ペルソナの意識・行動の変化の把握

子育て世代

- ・子育てで専業主婦や子育て共働き女性のストレスが増えている。
- ・仕事に関する不安が特に大きくなっており、柔軟な働き方ができる環境に対するニーズが高まっている。

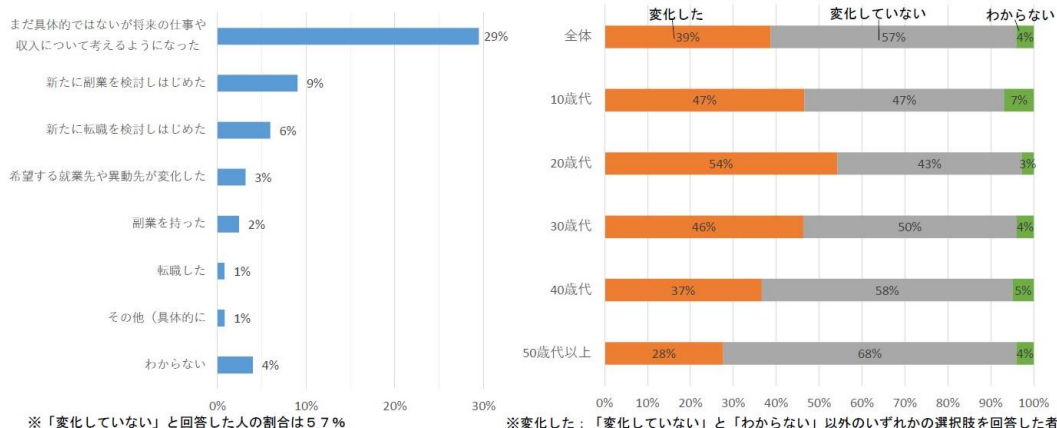
大学生・高校生

調査中

都市圏在住者(移住希望者)

- ・テレワークの定着などにより、全国的に新しい働き方への関心が高まっている。

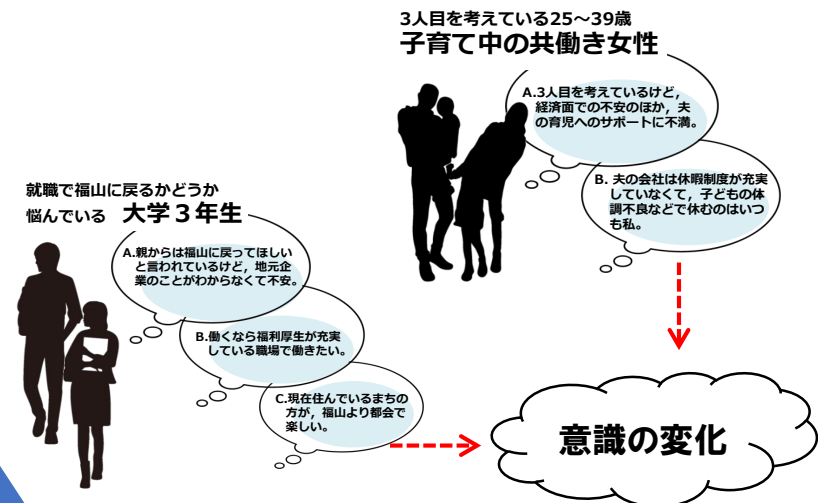
質問 今回の感染症拡大前に比べて、職業選択、副業等の希望は変化しましたか。(複数回答)



内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2年6月21日)

② AIを活用しためざす未来の研究

京都大学などとの共同研究



①新型コロナウイルスの感染拡大による意識の変化を反映したペルソナにアップデート

+

②ペルソナにとってめざすべき未来を明らかにし、その実現のための施策に再構築



「人口減少対策アクションプラン2021」

4-2 人口減少対策の再構築に向けたスケジュール

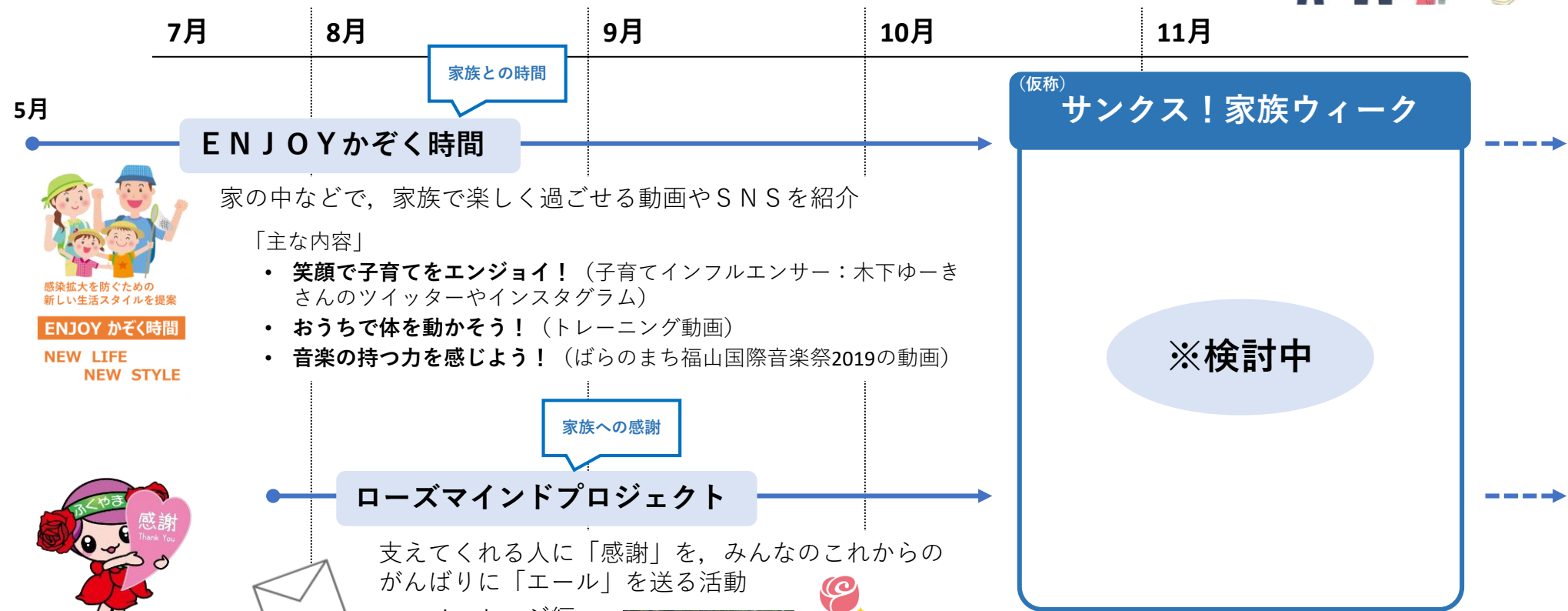
実績整理・再構築に向けた分析

再構築

項目	2020 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021 1月	2月	3月
アクションプラン等				実績まとめ、 成果の整理	アクションプラン2021骨格作成		アクションプラン2021素案作成				策定
ペルソナ		アンケート調査 (子育て世代、高校生、 大学生)		ペルソナ再構築 ↓ 次年度施策検討			アンケート調査 (家族ウィーク)				
		アンケート調査（ペルソナに関連の深い事業において実施）									
		ペルソナモニターへのインタビュー（高校生への出前講座や女性向け合同企業説明会など）									
AIを活用したペルソナ未来予測分析		子育て世代分析		めざす未来・ 重点事業の検討							
ライフスタイル応援 会議		● コロナ関連意見交換		● 第1回会議 (実績、コロナ禍での取組)	● 未来予測WS（子育て世代）		● 第2回会議（次年度の取組）		● 第3回会議（総合戦略、アクションP）		

5 コロナ禍での新たな取組の検討

- 2019年度に実施した「子育てパパ活躍ウィーク」をリニューアル
- 父親の子育て参加促進はメインテーマとして継続しつつ、新型コロナウイルスの影響が拡大する中で改めて注目された「家族」や「生活を支えてくれる人たちに」「感謝」と「エール」を送ることを通じて、その絆を深めるもの



感染拡大を防ぐための新しい生活スタイルを提案

ENJOY かぞく時間

NEW LIFE
NEW STYLE



※参考：昨年度実績

参加人数：約1,700人

参加団体数：16社、イベント等実施数：9件

実施内容：各企業の取組、子育て座談会、スタンプ3倍等
子育てパパへの特典 など